

私立大学図書館協会 2016年度第1回東西合同役員会議事要録

日 時：2016年8月24日（水） 14時00分～16時30分  
場 所：上智大学四谷キャンパス 中央図書館・総合研究棟（L号館-921）  
出 席 者：名簿のとおり

議事に先立ち、会長校挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。  
議事進行は、東洋大学附属図書館・齋藤洋館長が担当した。

[報告事項]

1. 協会会務報告（2016年4月～2016年7月）  
会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.4～7）にもとづき報告が行われた。
2. 東地区部会会務報告（2016年4月～2016年7月）  
東地区部会長校（学習院大学・中村）と東地区理事校・研究部担当（桜美林大学・佐々木）より配付資料（p.8～13）にもとづき報告が行われた。  
研究部の研修会（地域研修）報告の中で、今年度からの初めての試みとして首都圏中心で開催されてきた研修会を地方研修とし10月21日（金）東北福祉大学仙台駅東口キャンパスにて開催する。8月の締め切り時点で24名の申込みがあったが、追加募集を9月9日（金）まで行うとの報告が行われた。
3. 西地区部会会務報告（2016年4月～2016年7月）  
西地区部会長校（福岡大学・井口）より配付資料（p.14～24）にもとづき報告が行われた。  
説明後、会長校（東洋大学・齋藤）より西地区部会会務報告の配付資料（p.14）について、記載に不備があり訂正された。訂正箇所は、以下の通りである。  
（訂正箇所）（p.14）  
（1）加盟館について ⑥分館設置、廃止および分館名変更（2016年4月1日以降）  
<分館設置>  
誤）名城大学附属図書館ドーム前キャンパス図書館  
正）名城大学附属図書館ナゴヤドーム前キャンパス図書館
4. 委員会報告（2016年4月～2016年7月）
  - （1）協会賞審査委員会報告  
協会賞審査委員長（慶應義塾大学・松本）より配付資料（p.25）にもとづき、報告が行われた。
  - （2）研究助成委員会報告  
研究助成委員会委員長（名城大学・皆見）より配付資料（p.25）にもとづき、報告が行われた。

今年度の委員会は、昨年度からの委員が継続しているため、報告事項等よりも協議事項に時間を割いて行われた。特に2017年度【2016年度申請】研究助成の募集・募集期間について検討を行った。明日の総会でも募集の周知を行う予定である。

(3) 国際図書館協力委員会報告

国際図書館協力委員長（慶應義塾大学・館）より配付資料（p. 25～27）にもとづき、報告が行われた。

第1回寄贈資料搬送事業では、ラトビア国立図書館からの寄贈依頼に対応し、慶應義塾大学より寄贈を行った。アジア研究部の学生他、日本語を学ぶ方々へ役立たせていただく旨の感謝の連絡が先方より入った。次回以降も継続して受付けているので、寄贈いただける大学があればご協力をお願いしたい。

2017年度海外派遣研修の募集案内をHPおよびメールにて周知しているので、是非参加いただくようご協力をお願いしたい。また、参加条件等は周知しているが、プログラムの詳細がまだ決まっていない部分もある。9月初旬に公開される予定であるとの補足説明が行われた。

(4) 協会ホームページ委員会報告

協会ホームページ委員長（東洋大学・松浦）より配付資料（p. 27～28）にもとづき、報告が行われた。協会HPのセキュリティ対策などの為に専門的な知識を持ったITアドバイザーを加盟館に対し募集を行ったが応募者がいなかった為、外部へ業務委託を行いたいと委員会では考えている。予算規模については、別紙の見積書のとおり、約100万円であるとの説明がされた。会長校（東洋大学・齋藤）より、このITアドバイザー導入に伴う予算については、協議事項のその他の事項で取り扱うとの説明がされた。

5. 協会関連事項報告（2016年4月～2016年7月）

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 29～30）および別添資料にもとづき、以下の（1）～（3）について報告が行われた。

- (1) 国公立大学図書館協力委員会
- (2) 日本図書館協会
- (3) 後援・共催

6. 2016年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 31～33）にもとづき、報告ならびに人事異動等に伴う変更箇所の確認を行った。

7. 2016年度行事・会議予定

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 34）にもとづき、報告が行われた。

8. 研修会・講演会等に伴う講師派遣補助募集結果について  
会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.35）にもとづき報告が行われた。全体で20件程度の申請を予定していたが、西地区の東海地区から2件、九州地区から1件の合計3件の申請となった。この事業の予算は、繰越金の活用を踏まえ加盟館に還元できるよう今年度から新たに始めたもので、まだ予算に余裕があるため秋口にも募集を行いたいと考えている。協議事項の中で、再募集の項目があるためそこで検討をお願いしたいとの説明がされた。
9. ITアドバイザーの募集結果について  
会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.35）にもとづき報告が行われた。今年の4月1日から5月末までの期間、加盟館へ募集を行ったが応募がなかった。については、業務委託の予算化を協議事項のその他の項目で検討を行いたいと説明がされた。
10. その他  
(1) 私立大学図書館協会の図書館総合展出展について  
会長校（東洋大学・千葉）より、協会賞審査委員会から提出された図書館総合展出展について、4月開催の常任幹事会、5月開催の研究助成委員会、国際協力委員会で検討を行ったが、いずれの会議でも今年度の出展は予算・人的負担で難しいとの結論であった。但し、各々の活動について、広報の必要性はあるので次年度以降も検討を進めていただく。なお、協会賞審査委員会は明日開催予定のため、役員会の内容を報告いただき、委員会で検討していただきたいとの説明がされた。
- (2) 協会HPへの加盟館イベント情報の掲載について  
会長校（東洋大学・千葉）より、協会HPに加盟館からのお知らせ情報を掲載するインフォメーションサービスという機能があるが現在はほとんど活用されていない。過去の委員会や会長校からの検討依頼により、改善すべき課題となっているが、機能を整備し、利用できるように対応するにはITアドバイザー就任後、検討するとの回答を委員会から頂いている。応急処置的な対応として、トップ画面のお知らせ機能で「加盟館」情報を掲載する提案もあるが、これまでの掲載情報が埋もれてしまうなどの懸念があるため、会長校とHP委員会で調整・検討を重ね進めていきたいと報告された。

[協議事項]

1. 2015年度一般会計・特別会計決算報告（案）  
会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.36～38）にもとづき、2015年度決算について説明ならびに提案が行われた。続いて、監事校（明治大学・菊池）より配付資料（p.39）にもとづき、監査の結果、決算内容は適正であるとの報告がなされた。協議の結果、提案のとおり承認された。
2. 2016年度事業計画（案）  
会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.40～41）にもとづき、説明ならびに提案がされた。監事校（立命館大学・二宮）より、事業計画（案）に記載の「合理的で効率的な会務運営をすすめる」点について次のとおり意見があった。  
業務委託、専任職員が減らされている中で、全国的・地区ごとの連携を深め、図書館員の力を伸ばすためには研修等の活動は重要で必要である。但し、将来安定的

に運営できるようにするためには、役員校の役割分担を合理的、効率的にして運営していく必要である。事業計画に「合理的で効率的な会務運営をすすめる所存」と記載があるので、会長校や地区の部会長校等を経験した人が何人か集まって、役割分担、業務の合理化に向けプロジェクトチームを構築できないか、12月の常任幹事会に向けて提案いただけるとありがたいと意見を述べた。

会長校（東洋大学・齋藤）より、この課題はこれまでも意見があった事項でもあるので、次の常任幹事会の議題として検討させていただきたいとの回答があった。

2016年度事業計画（案）は、提案のとおり承認された。

3. 2016年度一般会計・特別会計予算（案）

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.48～50）にもとづき、2016年度一般会計ならびに特別会計に関し、昨年度第2回東西合同役員会以降の変更点、決算金額確定による金額変更等の説明と提案が行われた。提案のとおり承認された。

4. 2017年度～2018年度協会役員校（案）

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.46）にもとづき、説明ならびに提案が行われた。提案のとおり承認された。

5. 2016年度新規加盟校および脱退校（案）

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.47）にもとづき、説明が行われた。本年度の新規加盟申し込みは1校、また、脱退申し出は東地区より1校、西地区より3校となった。協議の結果、提案のとおり承認された。

6. 第78回（2017年度）総会・研究大会について

次期当番校（摂南大学・西畑）より配付資料（p.48）にもとづき、説明ならびに提案が行われた。協議の結果、提案のとおり承認された。

7. 研修会・講演会等に伴う講師派遣補助について（再募集）

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.49）にもとづき、説明ならびに提案が行われた。協議の結果、提案のとおり承認された。

8. その他

(1) ITアドバイザーの導入に伴う業務委託予算について

会長校（東洋大学・千葉）よりITアドバイザーの導入に伴う業務委託予算について、協会HP委員会より別添で配付している見積書の額は概ね妥当ではないかとの報告がされた。但し、見積書が1社のため、今後のHP委員会で再度検討し、仕様書とともに複数社の見積を用意し、12月の常任幹事会に提案できるようお願いしたい。この役員会では、次年度へ向けて予算化の方向性を協議して欲しいとの説明が行われた。

協会ホームページ委員長（東洋大学・松浦）より、見積書は昨年度に別会社の見

積を取っており、より高額であったとの報告がされた。また、次年度は委員が交代するため今年度は予算化の方向性を決定し、実際の業務委託の内容は次年度委員会で検討いただきたいとの意見があった。

また、会長校からの検討依頼である Web 上での名簿管理などもセキュリティ等の問題について委員会では判断できない為、IT アドバイザーと関連して、次期委員会へ引継ぎたいとの補足説明がされた。

協議の結果、IT アドバイザーの導入に伴う業務委託は 2017 年度に予算化を行う方向で承認された。

#### [懇談事項]

1. 2017 年度～2018 年度委員会委員および協会関連団体委員の選出について  
会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 50～55）にもとづき、説明がされた。
2. 活動報告書の提出について  
会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 56～57）にもとづき、活動報告書の作成について説明ならびに依頼があった。次期への引継という位置づけで、前期同様の取り扱いとし活動報告書を作成することが了承された。  
監事校（立命館大学・二宮）より、活動報告書の 4 項目に合理化できる（削減できる）事項を追加し、各々記載頂いてはどうかとの提案がされた。  
提案は了承され、改めてメールで依頼する際には、提案のあった 4 項目（合理化できる事項）を含む内容とすることを確認した。
3. 第 77 回（2016 年度）総会・研究大会について  
当番校（上智大学・後藤）より、明日と明後日の参加者数（予定）について報告された。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

以上

#### <配付資料>

1. 「私立大学図書館協会 2016 年度第 1 回東西合同役員会」(p. 1～57)

#### (別添)

第 80 回国公私立大学図書館協力委員会資料 (p. 1～136)  
IT アドバイザー導入に関する見積書